

## 平成30年度事業の概要

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

### 1 庶務の概要

#### (1) 主な会議, 行事等

月 日	事 項	場 所
4. 2	事務局長、センター長及び新規採用職員等辞令交付	栽培漁業センター
4. 3	補欠監事の就任協議	銚田市
4. 4	補欠評議員・補欠理事の就任協議	県庁
4. 5	補欠理事の就任協議	県庁、北茨城市他
4. 10	県水産部局所管事業等説明会	県庁
4. 20	平成30年度栽培漁業協会事業検討会	栽培漁業センター
4. 25	第15回評議員会（みなし決議）	栽培漁業センター
5. 10	第1回監査会	栽培漁業センター
5. 11	理事会開催に係る調整	県庁、すいさん会館
5. 16	第17回理事会	すいさん会館
5. 19	漁業士会通常総会	三の丸ホテル
5. 21	遊漁船協議会通常総会	すいさん会館
5. 24	評議員会開催に係る調整	県庁
5. 25	漁港協会通常総会	すいさん会館
5. 31	第16回評議員会	すいさん会館
6. 13	小型船協議会常任委員会	みまつホテル
6. 25	小型船協議会総会	フェリバールサンシャイン
7. 13	富山県議会農林水産委員会視察	栽培漁業センター
7. 18	底曳網協議会役員会	すいさん会館
7. 20	第17回評議員会（みなし決議）	栽培漁業センター
7. 20	栽培漁業推進協議会	すいさん会館
7. 26	出資法人等監督基準実地検査（県）	栽培漁業センター
7. 27	出資法人等経営評価ヒアリング	県庁
8. 1	底曳網協議会通常総会	ホテルザウエストヒルズ
9. 11	宮城県中部地区栽培漁業推進協議会視察	栽培漁業センター
10. 3	鹿島灘はまぐり祭り第1回実行委員会	鹿島灘漁協
10. 17～18	東北ブロック異体類分科会・冷水性ソイ・メバル分科会	岩手県宮古市
10. 26	関東・東海水産関係公益法人連絡協議会	東京都漁連ビル
10. 27～29	全国豊かな海づくり大会	高知県高知市
11. 15	漁港漁場予算に係る中央陳情	国会議員会館
11. 21～22	種苗生産機関所長・技術者会議	宮城県松島町
11. 28	第2回監査会	すいさん会館
12. 16	鹿島灘はまぐり祭り（センター公開）	鹿島港北海浜地区

12. 18~19	二枚貝類飼育技術研究会	神奈川県横浜市
1. 17	消防訓練	栽培漁業センター
1. 17	「国の水産政策の改革」に関する説明会	県庁
1. 29	労働基準法改正説明会	レイクエコー
2. 8	鹿島灘はまぐり祭り第2回実行委員会	鹿嶋市内
3. 25	第18回理事会	すいさん会館

## 2 登記事務の執行状況

登記年月日	登記事項
30. 4. 27	評議員・理事・監事・代表理事の辞任及び補欠評議員・補欠理事・補欠監事の就任に伴う変更登記
30. 5. 22	代表理事の選定に伴う変更登記
30. 7. 24	評議員の辞任及び補欠評議員の就任に伴う変更登記

## 3 評議員・役員・職員（平成31年3月31日現在）

評議員・役員				職員		
区分		現在数	備考	区分	現在数	備考
評議員		11名		事務局長	1	
				主事（総務）	1	
役員		15名	常勤	センター長兼魚類科長	1	
				係長	1	
				主任	1	
				技師	1	
				貝類科長	1	
監事		3名		主任	1	
				技師	1	
小計		15名		小計	9名	
計		18名		嘱託員	3	
				臨時職員	8	
合計		29名		合計	20名	

4 理事会・評議員会に関する事項  
理事会

<p>第17回</p>	<p>平成30年5月16日 場所：水戸市 すいさん会館 議長：清水信宏理事長</p>	<p>議 事 (1) 報告事項 ① 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について ② 平成29年度出資法人等経営評価結果について ③ ひらめ負担金について (2) 議 案 第1号議案 辞任に伴う理事長選定に関する件 (清水信宏理事を理事長に選定) 第2号議案 平成29年度事業報告及び決算に関する件 (原案承認) 第3号議案 定期異動に伴う栽培漁業推進協議会委員の選任に関する件 (原案承認) 第4号議案 定時評議員会招集及び評議員会に付議すべき事項の決定に関する件 (原案承認)</p>
<p>第18回</p>	<p>平成31年3月25日 場所：水戸市 すいさん会館 議長：清水信宏理事長</p>	<p>議 事 (1) 報告事項 ① 代表理事及び業務執行理事の主要事務の執行状況について ・平成30年度主要事務の執行状況 ・登記事務の執行状況 ② 平成30年度の種苗生産及び放流実績 (中間報告) ③ ひらめ負担金について ④ 茨城県漁業信用基金協会出資金の扱いについて (2) 議 案 第1号議案 平成31年度負担金及び徴収方法に関する件 (原案承認) 第2号議案 平成31年度事業計画及び収支予算に関する件 (原案承認) 第3号議案 公益財団法人茨城県栽培漁業協会の事務局長の任用に関する件 (原案承認) 第4号議案 公益財団法人茨城県栽培漁業協会服務規程の一部改正に関する件 (原案承認)</p>

評議員会

<p>第15回</p>	<p>平成30年4月25日 (みなし決議) 提案者：太田牧人理事</p>	<p>提案1 清水信宏評議員の辞任に伴う補欠評議員として県農林水産部水産振興課長の益子知樹氏を選任すること (原案承認) 提案2 高濱芳明理事の辞任に伴う補欠理事として県農林水産部次長兼漁政課長の清水信宏氏を選任すること (原案承認) 提案3 八角直道理事の辞任に伴う補欠理事として県水産試験場長の土屋圭巳氏を選任すること (原案承認) 提案4 鈴木雄一理事の辞任に伴う補欠理事として北茨城市環境産業部長の神永衛氏を選任すること (原案承認) 提案5 稲田修一理事の辞任に伴う補欠理事としてひたちなか市経済環境部長の海埜敏之氏を選任すること (原案承認) 提案6 小沼三男監事の辞任に伴う補欠監事として銚田市産業経済部長の鈴木賢氏を選任すること (原案承認) 提案7 上記提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日を、平成30年4月25日とすること。 (原案承認)</p>
<p>第16回</p>	<p>平成30年5月31日 (定時評議員会) 場所：水戸市 すいさん会館 議長：櫛田浩司評議員</p>	<p>議 事 (1) 報告事項 ① 平成29年度事業報告について ② 平成29年度出資法人等経営評価結果について ③ ひらめ負担金について (2) 議 案 第1号議案 平成29年度貸借対照表の承認の件 (原案承認) 第2号議案 平成29年度正味財産増減計算書の承認の件 (原案承認) 第3号議案 平成29年度財産目録の承認の件 (原案承認)</p>
<p>第17回</p>	<p>平成30年7月20日 (みなし決議) 提案者：太田牧人理事</p>	<p>提案1 別井一栄評議員の辞任に伴う補欠評議員として茨城県漁業信用基金協会理事長の高濱芳明氏を選任すること (原案承認) 提案2 上記提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日を、平成30年7月20日とすること (原案承認)</p>

## 5 事業の概要

30年度は次の各事業を実施しました。

- 1) ヒラメの種苗生産・放流及び放流効果調査等を行うヒラメ資源増大パイロット事業  
(補助事業)
- 2) アワビの種苗生産・配付を行う放流用種苗生産事業 (受託事業)
- 3) アユの種苗生産・配付を行う配付用種苗生産事業 (受託事業)
- 4) 鹿島灘はまぐりの種苗量産技術開発事業 (受託事業)
- 5) ソイ類の種苗生産基礎技術開発事業 (受託事業)
- 6) マコガレイの種苗生産基礎技術開発事業 (受託事業)
- 7) 茨城県栽培漁業センターの施設、設備の維持管理を行う栽培漁業センター保守管理事業  
(受託事業)
- 8) 小学生等の見学者への対応、全国豊かな海づくり大会への参加、機関誌「茨城さいばいだより」の発行などを行う栽培漁業普及事業  
(協会単独事業、ただし、普及啓発指導員の配置は受託事業)

各事業の実績は、次のとおりです。

### (1) ヒラメ資源増大パイロット事業

漁業者や遊漁船業者の負担金等のほか、県の補助金の交付を受けて、ヒラメの種苗生産・放流を行うとともに、放流効果を把握するため、水揚げされた魚の市場調査を漁協に委託して実施しました。

#### ① ヒラメ種苗生産・放流

次表のとおり、100mmサイズまでの種苗生産を当栽培漁業センターで行い、関係漁協の協力を得て、それぞれの地先海面に放流しました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
ヒラメ	100mm 850千尾	138mm 518千尾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8/7～12/16 県内海域へ放流</li> <li>・ 養成親魚の産卵不調により山形県および青森県から受精卵を確保した。</li> <li>・ ふ化直後に生物餌料ワムシの細菌叢が原因と考えられる減耗があり計画尾数を下回った。</li> </ul>

#### ② 放流効果把握調査

ヒラメの放流効果を把握するため、県内産地市場の9漁協に委託して、漁業種類毎に漁獲されたヒラメの全長や数量等の測定と、そのうちの体色異常魚(放流魚)の尾数等を調査しました。調査尾数は126,724尾で、このうち体色斑から放流魚と確認されたヒラメは6,137尾で、その混入率は4.84%でした。

(2) 水産種苗生産技術開発事業

① 放流用種苗生産事業（アワビ）

県の委託を受けて、アワビ種苗を次表のとおり生産し、県の指示により配付しました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
アワビ	35mm 300千個	35mm 269.8千個	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度放流用</li> <li>6/26～8/6 県内漁協等へ配付</li> <li>赤潮の発生による減耗があり計画個数を下回った。</li> </ul>
	35mm 300千個	40mm～30mm 327千個	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度放流用</li> <li>サイズ・数量は平成31年2月末の測定値</li> <li>赤潮の発生により、平成30年度同様不足が生じる見込みとなったことから、別途、岩手県から18mmサイズ4万個を購入した。</li> </ul>
	35mm 300千個	25mm～5mm 313千個	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度放流用</li> <li>サイズ・数量は平成31年2月末の測定値</li> </ul>

② 配付用種苗生産事業（アユ）

県の委託を受けて、アユ種苗を次表のとおり生産し、県の指示により配付しました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
アユ	70mm 200千尾	59～70mm 316千尾	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間育成用（霞ヶ浦養殖業者へ配付） 2/5, 22 60～70mm・116千尾</li> <li>放流用（久慈川・那珂川河口において放流） 3/18, 20 64mm・198千尾</li> <li>親魚養成用（県水産試験場内水面支場に引き渡し） 2/26 59mm・2千尾</li> </ul>

③ 種苗量産技術開発事業（ハマグリ）

県の委託を受けて、次表のとおり、鹿島灘はまぐりの種苗量産技術開発および親貝早期成熟技術開発等を行いました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
鹿島灘 はまぐり	2 mm 10,000千個	0.7～1.1mm 5,699千個	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 餌料藻類の栄養価に着目し、平成29年度に幼生飼育成績の良かった市販の珪藻と水質安定効果や細菌増殖抑制物質を分泌するとされる藻種の組み合わせを中心に飼育試験を行った。</li> <li>・ 補助餌料として添加した藻種の純粋培養不調が原因と推測される斃死があり、幼生飼育99例中27例で6,361.1万個体(平均生残率5.9%)の沈着稚貝を得られたが、平均生残率は昨年度(37.2%)より低くなった。</li> <li>・ 10/24, 12/6 県(水産試験場)に引き渡し</li> </ul>

④ 種苗生産基礎技術開発事業（ソイ類）

県の委託を受けて、次表のとおり、ソイ類の種苗生産基礎技術開発を行いました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
ソイ類	30mm 20千尾	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当年度の妊娠魚確保及び後年度に用いる親魚養成を目的に、県内漁協よりクロソイ9尾、ムラソイ30尾、キツネメバル1尾を収集した。</li> <li>・ 養成親魚を妊娠させるため、11～1月の交尾期に親魚を水深の深い水槽へ移して交尾行動の促進を図るとともに雄親魚の精子採取を行い、人工授精を試みた。</li> <li>・ しかし、いずれの親魚からも仔魚は得られなかった。</li> </ul>

⑤ 種苗生産基礎技術開発事業（マコガレイ）

県の委託を受けて、次表のとおり、マコガレイの種苗量産基礎技術開発を行いました。

魚種名	生産計画	生産実績	備考
マコガレイ	30mm 200千尾	36.6mm 408千尾	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度採卵種苗</li> <li>大型水槽を用いた冷凍コペポーダ給餌試験を実施し、給餌作業の省力化を図った。</li> <li>4/24～27 県(水産試験場)に引き渡し</li> </ul>
	30mm 200千尾	14～20mm 約500千尾	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度採卵種苗</li> <li>令和元年度 県に引き渡し(放流)予定</li> <li>サイズ・数量は平成31年3月18日の測定値</li> </ul>

### (3) 栽培漁業センター保守管理事業

県の委託を受けて、茨城県栽培漁業センターの機械設備の点検・修繕等の実施や施設内の安全確保を図るとともに、夜間・休日の警備など施設・設備の維持管理を行いました。

震災前の浸透取水方式から直接取水方式へ変わったことにより取水系統の新たなメンテナンスが発生し、適宜対応を図りました。

### (4) 栽培漁業普及事業

茨城のつくり育てる漁業の普及啓発を図るため、次の事業を行いました。

#### ① 展示施設の一般開放

栽培漁業に関する説明や施設の案内等の普及啓発業務を行うために専門の嘱託員を配置しました。

今年度、学校関係を中心とした栽培漁業センターの見学者数は、6,710人でした。このほか、12月16日に鹿島灘漁協で開催された「鹿島灘はまぐり祭り」のイベントの一環として行われた「栽培漁業センターの一般公開」の見学者数は、919人でした。

#### ② 全国豊かな海づくり大会への参加

水産資源の維持培養と海の環境保全に対する国民の意識高揚等を図り、水産業の振興と豊かな活力に満ちた地域産業の発展に資することを目的に「第38回全国豊かな海づくり大会」が平成30年10月28日(日)に高知県において、天皇・皇后両陛下のご臨席のもと開催されました。

本県では、当協会が事務局となり、県、市町、水産関係団体などからなる参加団を組織し、23名が参加しました。

#### ③ 機関誌の発行等普及事業の実施

- 栽培漁業などつくり育てる漁業を推進するため、当協会の機関誌「茨城さいばいだよりの発行及び栽培漁業啓発用パンフレットを作成したほか、ホームページ等により当協会の活動や栽培漁業センターの施設を紹介しました。
- (公社)全国豊かな海づくり推進協会発行の機関誌を関係団体に配布したほか、つくり育てる漁業の推進関係中央団体の国への要請活動等に参加しました。
- 茨城県漁業研究協議会及び茨城県漁業士会に助成し、その活動を支援しました。